VISION 7

構成員一人ひとりの活力を相乗的に高める大学経営を確立します。

重　点　戦　略　⑬

経営基盤及び業務構造の再構築・強化

主　要　施　策

大学経営における明確な役割分担と最適化

大学が戦略性をもって活動展開するため、全構成員の意見を踏まえつつ、総長が、部局長との連携の下、全学的なリーダーシップをとれる体制を整備するとともに、大学経営における役割や機能の分担を明確にし、最適化していきます。

大学経営を担うマネジメント人材の育成

有能な職員が大学経営等の戦略的な業務に深く関わっていけるよう、良質なマンパワーの増強と職員の研修等を通じて、教員と事務職員等がチームとして、最大限にパフォーマンスを発揮していける体制づくりを進めます。

全学として英語に対応できる体制づくり

事務機能の英語対応力強化のための組織改革を実行するとともに、英語に堪能な職員の採用や英語実技検査を活用した研修等により、職員が語学力を向上できる取組を全学として積極的に行います。

教育研究現場力の向上を支援する仕組みの構築

不要な会議や業務の廃止、定型的な業務の集約化など、構造的な業務改革を断行します。現場における教員と事務職員の役割分担の最適化を図り、事務職員一人ひとりが企画・実行力を十分に発揮できる環境を整えます。部局の教育研究の現場において、職員個人及び少人数グループ、学科・専攻・部門などの様々な単位で実施する現場力向上の取組を募集・支援する仕組みを構築します。優秀な人材が集まり、やりがいを持って働ける職場作りを進めます。

多様な教育研究等を支える情報基盤の活用充実

ワールドクラス大学にふさわしい多様な教育研究活動等を支えるため、限られた大学資源の効率的・合理的運用とそのための意識改革を進めつつ、情報基盤の維持運用・活用充実と更なる高度化を図ります。

真の男女共同・協働の実現

門戸開放の理念に基づき女子学生入学を国立大学として最初に認めてから100年という本学の歴史を踏まえ、これまでの男女格差の是正、両立支援体制の充実、研究・労働環境の改善などの取組を一層強化するとともに、「東北大学における男女共同参画推進のための行動指針」に基づき総合的・計画的な取組を推進します。

重　点　戦　略　⑭

コンプライアンス推進体制の整備

主　要　施　策

リスクマネジメント体制の構築と個人及び組織としてのコンプライアンスの高度化

大学の構成員一人ひとりがリスクマネジャーとしての自覚を持ち、内外の様々なリスクに対応できる実践的なリスクマネジメント体制を確立します。社会的・公共的な存在として個人及び組織のコンプライアンスの高度化を図ります。

優れた研究を実践・発表していくための研究倫理を重視する体制の構築

総合大学としての多様な研究活動を保障する研究倫理に関するルールを体系的に整備し、その普及を図ります。

重　点　戦　略　⑮

財務基盤の強化

主　要　施　策

より積極的な大学経営を可能とする財務基盤の強化

外部資金の獲得強化、企業等からの資金導入の促進、経費節減の徹底等を実行し、安定した財務基盤の構築を図り、必要とされる領域への重点的な予算配分を行います。

重　点　戦　略　⑯

世界の総合大学にふさわしい病院の強化

主　要　施　策

国際的病院機能を目指した設備・機能の整備

最先端の医療水準を維持・発展させるため、東北大学病院を広く世界に開かれた病院とします。医療・教育・研究に関して、諸外国、特にアジア各国の先端医療拠点病院との連携・人材交流を図ります。

より安定した経営基盤の確立

大学病院にふさわしい最先端の医療を実践するため、重点診療部門の強化・経営の効率化を推進し、安定した経営基盤を確立します。

臨床研究、トランスレーショナル研究及び先進医療の推進

東北大学病院は、我が国における医療イノベーション及び先端医療の拠点となり、臨床研究及びトランスレーショナル研究を推進します。次世代医療の実現に向けた研究基盤を整備し、宮城県のみならず東北地方全体とネットワークを構築して臨床研究を展開します。

社会の要請に応える医療人養成と被災地医療支援

高度な知識、技能及び態度を兼ね備えた医療人を養成し、社会に輩出するため、職種ごとに新たな教育研究システムを構築します。地域医療復興のため、被災地の医療支援を行うとともに、医療人を被災地に引き付けるための地域医療モデルを構築します。